



俗風の入嫁在近橋前州上

① 風俗画報 第七十五号 増刊日本婚礼式上巻

明治 27 年 (1894) 7 月 28 日

『風俗画報』は、明治 22 年 (1889) に創刊された日本初のグラフィック雑誌です。展示した絵は、第七十五号の日本各地の婚礼習俗を特集した記事の中に掲載された挿絵です。上州前橋付近の入家儀礼を描いたもので、婚家の門口で仲人らしき女性が嫁の手を取り、男性たちが松明をかざす中、嫁が竹竿を跨いでいる様子が描かれています。ちなみに、同様の習俗が県内各地に存在していたことが、明治 43 年に作成された各村の『郷土誌』からも窺えます。

大島登輝夫氏収集文書 P0109 No.178-71
(前橋市荒牧町)